



濡れた路面の吸水が素早くできる

ウォータータス

降雨・降雪後の濡れている路面の吸水をおこない、その後の施工を早く行うことが可能です。

- 18リットルの水を吸水
- 排水が簡単
- コンパクトに収納
- スポンジの交換作業が簡単

ホームページにウォータータスを使用している映像があります。ぜひご覧ください。

ウォータータス

⚠ 夏期における屋外路面シート製品の施工直前の注意事項



直射日光厳禁

屋外路面シート製品を直射日光に長時間あてた状態にするとシートが伸びたり、また柔らかくなり施工時に設置しづらい原因となります。特にクイックシートの黒色は熱の吸収率が高く、段ボールとシート、またはシート同士が貼付く恐れがありますので施工直前まで直射日光を避け涼しい所に立て掛け厳禁で保管ください。

当社商品に関するご注文・お問い合わせはこちらまで

Tel 076-289-6639 (直通) Fax 076-289-6637

#SANKO NEWS 7

2016年7月号 Vol.82

SANKO サンコー企業株式会社

石川県河北郡津幡町字旭山1番地2 〒929-0447
Tel:076-289-6708(代表) Fax:076-289-7992

月刊 サンコーニュース

MONTHLY SANKO NEWS

July 2016 Vol.82

7



東京オリンピックで
変わるサイン

NEXT ▶▶ 2020

東京オリンピックで変わるサイン

1964年 東京オリンピック

1964年の東京オリンピックでは、国立競技場などの競技施設はもちろん、東海道新幹線開通や首都高速などが整備されました。交通インフラなどが目覚ましい発展を遂げ、戦後の日本の奇跡的な復興を意味するものとなりました。国際的な祭典であるオリンピックに世界中から大勢の人々が集まることとなり、言葉や文化、風習の異なる人たちをどのようにもてなすか、当時の日本にとっては大きな課題になりました。その課題を解決するためピクトグラムが活用され、広く普及するきっかけとなりました。競技種目ごとピクトグラムやトイレの男女マークなど日本発のピクトグラムも多く誕生しました。それらは高い評価を受け、形を変えその後のオリンピックにも受け継がれています。

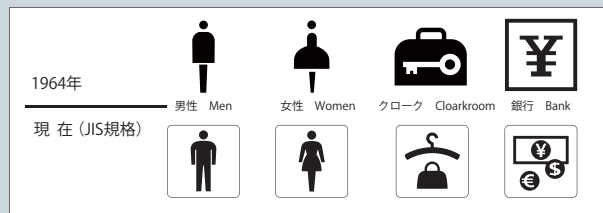
クイックシート



トイレマーク 福井県 南越前町
W600×H600mm【D-TWN-61】



初めて採用された 1964年東京大会 競技種目ピクトグラム
言葉がなくてもどのような競技かわかります



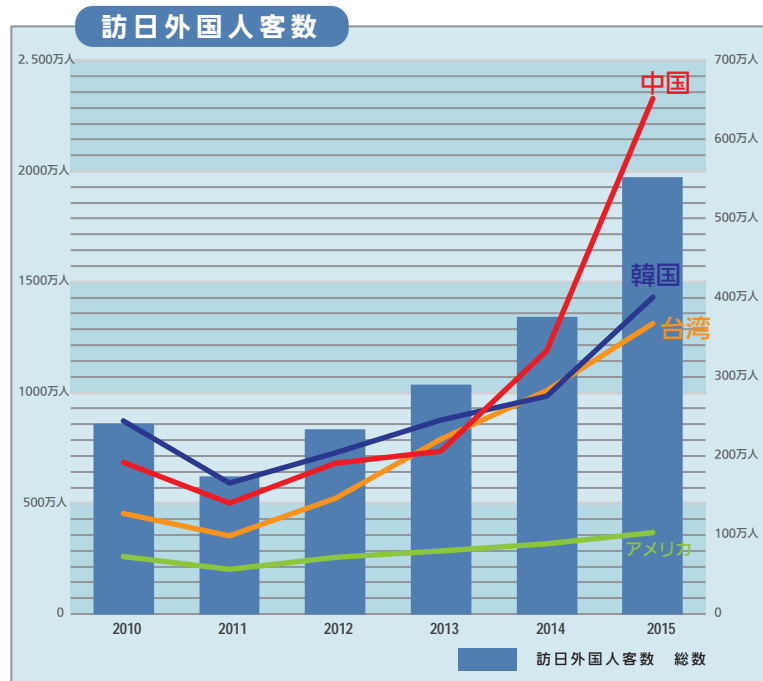
1964年 東京大会で誕生したピクトグラムと現在のピクトグラム
形を変え現在も活用されています

訪日外国人 増加

日本政府観光局によると2015年の訪日外国人観光客は前年比の47.1%増の1973万7400人と過去最高となりました。14年の1341万3476人を大幅に上回り、3年連続で最高記録を更新しました。

訪日ビザ(査証)の要件緩和や円安などを受けて、中国などアジアを中心に訪日ブームが続き、1964年の統計開始以降、最大の伸びとなりました。

安倍政権は「東京五輪が開かれる2020年に訪日外国人2000万人」の目標を掲げていますが、現状のペースで推移すれば16年にも前倒しで達成しそうなため、新たな目標の設定が検討されています。



出典：「日本政府観光局 (JNTO)」

2020年 東京オリンピックに向けて

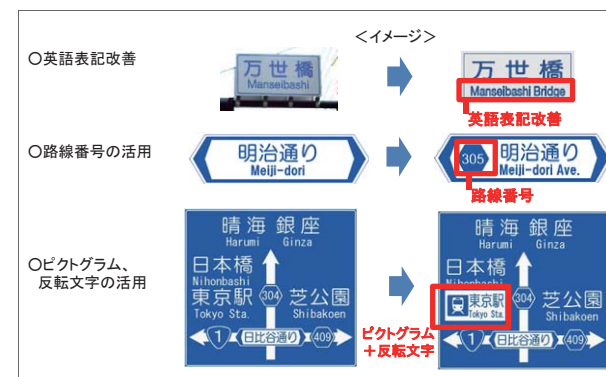
4年後の今頃、日本はどんな賑わいをみせているのでしょうか。新たなものが誕生したり、現在あるものの見直しや改善、改良がさらに進み、未来の日本への期待が高まります。

東京2020年大会開催基本計画(公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会)ではまた「ユニバーサルデザインやアクセシビリティ、持続可能性など、大会運営において多様性と調和を取り入れた会場をデザインすることが重要である。」としており、路面空間においてもより多くの人が利用しやすい道路、路面サインが求められます。

外国人にもわかりやすい道路標識の改善

国土交通省では、2020年東京オリンピックに向けて、増加が予想される訪日外国人や様々な来訪者にとってわかりやすいものになるよう道路標識の改善を進めています。英語表記改善の改善に加え、路線番号、ピクトグラム、反転文字などを活用しています。

東京では「秋葉原」、「蒲田(羽田空港周辺)」において今年2月頃から改善工事が着手されています。



表記 改善例

変更が検討されている一時停止

現在、中国、韓国、アメリカや欧米などで一時停止は八角形と日本とは形が違います。警視庁では、外国人でも一目でわかるように表示の変更を検討しています。一時停止の標識は全国で約700万ヶ所あり、すべてを八角形に変えると約255億円の費用がかかる見込みです。

高額な費用がかかるため、現在の標識に「STOP」と併記する案も浮上しています。国内外の交通事情に詳しい自動車ジャーナリストや外国人の大学教授らに意見を聴取し、変更が検討されています。



各国の一時停止

多言語標示

訪日外国人の中で圧倒的に多いのが中国を始めとするアジアの人々です。そのため外国人の利用が多い駅や主要施設の案内サイン等は、日本語と英語表記だけでなく、中国語、韓国語の標示も必要視されています。

以前クイックシートでは、最小サイズに限りがあるため多言語標示は作成が難しい場合がありました。こういった多言語標示や今までクイックシートではできなかったデザインに対応するためパルシートが誕生しました。

全国へ

訪日外国人の増加はオリンピック開催地の東京だけではなく全国に広がっています。ここ石川県でも街中で外国人を見かけることがめずらしくなくなってきました。その他の都市でも外国人の増加を実感されているのではないのでしょうか。こういったことから地方でも標示の改善、変更が徐々に波及すると考えられます。4年後の東京オリンピックに向けて、設備や施設だけでなく路面サインもどのように変化があるか注目です。

グラフィカルシート



わかやま国体 和歌山県 和歌山市
W2000×H2000mm

パルシート



危険・走るな! 北海道 札幌市
W300×H600mm【PA0043】